

ヒーロー 2010

2

大胆予言「北で大爆発」

「北朝鮮で大きな爆発か驚天動地の大事件が起き、代表的人物かその家族が孤独に旅立つ」「少数民族が中国から離れようとして、動乱が起ころう」。

2010年をこう大胆に予言する香港風水師界のプリンス、李丞責(40)。05年に香港の董建華・行政長官辞任を当てたのが評判となり、先端のファッションを着こなし理路整然と語る風貌も人気を呼んで、テレビ番組や新聞のコラムに引張りだした。

土地の地勢、水勢を占って開運につながる建築方式や住環境を探る風水は、中国で古来、人々の生活に根付いている。李は祖父、父とも風水師の家に生まれ、自身も19歳で開業したが、「幼いころは風水が嫌いだった」と明かす。

「通っていたキリスト教系の小学校の先生が、予知は悪魔の仕業だと教えていたから」。そんな息子を父はよく、郊外の山での修業に連れて

中国進出狙う 香港のプリンス



中国・広州でのイベントで、相談者に新年の運勢を告げる李丞責さん(青山謙太郎撮影)

行っっては、一緒に遊びながら風水がどんなものか教えてくれた。

「父は、私がクリスマスイ

風水師

李丞責

ブに泥棒に遭うことも、自身が何歳で亡くなるかも当てた。それだけでも風水を信じるのに十分だと思いませんか」

昨年末、李は中国広東省広州でのイベントに招かれ、歯切れ良い語りで本土の聴衆を魅了した。「新年の干支は寅。病気や争いを招くので、この飾りで守って下さい」。李に結婚運を尋ねた30代の女性経営者は「きょうの目当ては彼。話が聞けて満足」と

笑顔を見せた。李は今年、中国への本格進出という目標を思い描く。中国当局は長年、「風水は迷信」として規制してきたが、最近はそのも緩くなり、官僚が風水師に昇進の相談をするほどで、市民レベルで風水復権の動きが急だ。

李は昨年、北京の大学で天文学博士号を取得する一方、多くの香港映画スターを中国に売り込んだ大物プロデューサー、黄柏高(58)の助言を受けようになった。黄は「風水は科学的ではない、というのが中国当局が問題にする点だから、李が北京で学位を取ったことは進出に有利に働く」と解説する。

黄は「李クラスの風水師だと、中国では大型施設1件の鑑定で最大100万円(約1300万円)単位の収入も見込める」と話す。中国市場が魅力的なのは、風水の世界も同じだ。

李には今年の日本がどうなるかも聞いた。「内閣が倒れる恐れがあるが、景気は改善し、失業率の悪化も峠を越える」。これは果たして、吉か凶か……。

(敬称略)
(香港 榎野健)

風水と中国人

風水の起源は諸説あるが、9世紀頃には広まっていたと見られる。故宮など北京の著名な建物にも風水が影響したのは有名なが、1949年以降の共産党政権は風水を弾圧した。一方、香港やマカオでは市民生活に溶け込んでおり、ホテルなどの大型施設の建築では必ず風水師に相談するとされる。香港ディズニーランドも設計段階で風水師の助言を受けた。